



9/12~16 雄武町職員基幹産業研修 **ホテルの仕事を経験**

雄武町役場では、町内の基幹産業などについて学ぶことを目的として、若手職員を対象に基幹産業研修を行っています。今年、ホテル日の出岬において、大浴場の清掃、客室の清掃やベッドメイキング、接客などの業務を体験し、おもてなしの心を学びました。研修に参加した職員は「今回の研修は貴重な経験となりました。今回、学んだことをこれからの業務などに活かせるよう頑張ります」と話していました。



↑風呂桶やイスの洗浄をしている様子

9/17・18 読み聞かせ&ライブペインティング **即興イラストに驚き**

雄武町図書館「雄図びあ」で絵本作家の谷口智則氏による壁画制作と絵本の読み聞かせ、ライブペインティングが行われました。17日は、幼児用のおはなしのへやの入り口にご自身のキャラクターや雄武町で見た動物、景色を交えた壁画を描き、18日は、体験型絵本などで子どもたちと交流をしたり、ライブペインティングでは、参加者からリクエストされた32種類の動物を描いたイラストが作成されました。作品は、視聴覚コーナーに飾られていますので、是非お立ち寄りください。



↑リクエストされた動物を描いていく谷口氏（右）

↓合同芸術鑑賞会の様子



9/13 中学校高校合同芸術鑑賞会 トリオ **大迫力の三重奏曲生演奏**

町民センターで中学校高校合同芸術鑑賞会が行われ、バイオリン奏者の福井岳雄氏、チェロ奏者の中川恵美氏、ピアノ奏者の辻千絵氏によるピアノ三重奏曲が披露されました。3つの楽器が奏でる綺麗な音色に学生たちは静かに耳を傾けていました。

演奏以外にも、各楽器の紹介、披露した曲や作曲家の説明、生演奏のイントロクイズなども行われ、生徒たちを楽しませました。

↓イラスト講座の様子



9/25 自分だけのオリジナルキャラクターを作ろう **はじめてイラスト講座**

雄武町図書館「雄図びあ」で、東放学園アニメーション・CG科でイラストについて教えている大塚美奈氏に講師をしていただき、自分だけのキャラクターを描くイラスト講座がオンラインで開催されました。参加者は、線を綺麗に描く練習方法や顔・表情などの基礎的な部分から、三頭身キャラクターの描き方を教わり、自分だけのオリジナルキャラクターを作り上げていきました。参加者からは「普段、顔しか描かないので三頭身キャラを描くのは新鮮で面白かった」などの声がありました。



↑献花を行う参列者

8/26 戦没者追悼式 **恒久的な平和を願って**

令和4年度雄武町戦没者追悼式が町民センターで挙行され、遺族や来賓など45人が参列しました。式典では全員で黙とうをした後、雄武町遺族会会長の館山光司氏が「二度と悲惨な戦争を繰り返さないため、この大戦が残した教訓を次世代へしっかりと伝えていきたい」と追悼の辞を述べました。厳かな雰囲気の中、参列者一人ひとりが過去の大戦で亡くなった144人の英霊に献花を行い、平和への誓いを新たにしました。

9/10 稚内信用金庫年金友の会健康講座 **健康的な生活に向けて**

町民センターにおいて稚内信用金庫年金友の会による健康教室が実施されました。

本教室では、雄武町地域包括支援センターの職員を講師に、認知症に対する理解を深めるための講話と認知症予防のための体操を行いました。

講話では、認知症の原因や防ぐためのポイントなどについての話しがあり、また、体操では地域活動支援センター「ココカラ」で作成された特製手ぬぐいが配布され、手ぬぐいを使ったストレッチなどが行われました。参加者からは「家でもできる簡単な体操だから、これからも続けていきたい」と話していました。



↑手ぬぐいを使った体操をしている様子

9/11 風の子児童センターこどもまつり **わくわくがいっぱい**

この日、風の子児童センターで「風の子児童センターこどもまつり」が3年ぶりに屋外で開催されました。

お祭りの露店では、射的やスーパーボールすくい、綿あめなどのおなじみの屋台のほかに、まき割りやスラックラインの体験コーナー、紫外線で固まる樹脂「レジン」を使ったキーホルダーづくりなどが行われ、児童たちは目当ての露店に並び祭りを堪能していました。参加した児童は「スーパーボールすくいポイを破らないでたくさんの景品がとることができた」と笑顔で話してくれました。最後は、参加した児童たちにそうめんが振舞われてお祭りを締めくくりました。



↑スーパーボールすくいに熱中する児童たち